

令和3年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

事業報告

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

- ・ 随時利用団体から話を伺い、相談を受けて対応した。
- ・ コロナ禍により活動が制限された団体もあったが、コロナ禍での活動の工夫や再開に向けた相談等を通して団体支援を行い、信頼関係の構築につなげた。
- ・ 各種広報紙やチラシ等の配架を見やすいように工夫することで、利用者に情報を提供し、気軽に活動の相談や問い合わせができるよう環境を整えた。

(2)拠点の利用促進に関すること

- ・ 各種広報紙やチラシ等の配架を見やすいように工夫することで、利用者に情報を提供し、気軽に活動の相談や問い合わせができるよう環境を整えた。(再掲)
- ・ 利用促進に向けて、利用者の立場に立った対応やわかりやすい説明、笑顔での対応等を全ての職員が心がけた。
- ・ 毎月の予約開始時に土曜日の日中の利用希望が重なることが多かったが、部屋や時間帯(午前・午後)を調整してより多くの団体が利用できるようにした。
- ・ 対面朗読室や点字製作室の活用を案内した結果、保護司がサポートセンターとして定期的に活用するなど、拠点の利用促進につながった。
- ・ 「寄り添い型学習支援」を行う団体に定期的に会場を提供することで、安定した団体活動を支援すると共に、夜間の稼働率の向上につながった。

(3)拠点のサービスの向上に関すること

- ・ 利用促進に向けて、利用者の立場に立った対応やわかりやすい説明、笑顔での対応等を全ての職員が心がけた。(再掲)
- ・ 拠点利用に対する満足度調査を実施し、利用者の意見を踏まえて館内掲示の工夫等進めた。
- ・ 利用者からの意見や要望は記録に残すとともに、朝礼や職員会議等を活用して職場内で共有し、サービス向上に取り組んだ。
- ・ 障害がある方がスムーズに利用できるよう、例えば聴覚障害の場合はメールでの利用申込みに対応し、利用の際は筆談や手話などを通してコミュニケーションを積極的にはかる等、利用者の立場に寄り添った対応を進めた。また、聴覚障害者団体の利用が多い夜間の時間帯は、受付時に簡単な手話で挨拶を行い、利用者から好評を頂いた。
- ・ まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などの状況により開館時間や利用定員等の変更が生じた場合は、電話連絡・掲示やホームページ等で、できる限り速やかに周知を行った。

(4)利用調整会議等の開催

- ・利用者懇談会は今年度もコロナ禍のため集合型では開催できず、利用団体同士の交流や情報交換等は実施できなかったが、書面で利用規約の説明やロッカー抽選を行うとともに、コロナ禍での各団体の困りごとや工夫など書面で聞き取りを行い、結果を取りまとめて各団体に報告した。
- ・利用者懇談会と同時に行う予定だった避難訓練は実施できなかったが、館内の消火器や避難経路等の説明文書を利用団体に送付し周知を行い、拠点利用者の防災意識を高めた。

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、地域への訪問の機会が減少した。少ない機会を有効に活用し、地域から情報を集め、要望が多かった個人宅からの生活支援ボランティア依頼を受けて、草刈りボランティア養成講座を実施した。また、子育て支援ボランティアの増加推進のため、子育て支援拠点と連携して講座を実施した。
- ・令和4年1月から、ボランティア受入施設へ募集状況のヒアリングを開始した。また、ボランティア活動登録者の活動希望内容や在住地域を分析し、新型コロナウイルス感染症の影響を調査し、効率的なコーディネートに向けた情報整理を行った。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

- ・長く固定化していた紙面構成をリニューアルしたボラセン便りを発行し、登録ボランティアに送付した。また、区社協広報紙に折り紙で季節飾りを作成するボランティア活動募集記事を掲載したところ、22名の新規ボランティア活動者を発掘することができた。
- ・拠点開館状況や寄付事業情報をホームページやフェイスブックで随時掲載することで、インターネット媒体における情報発信を強化した。
- ・ボランティア活動団体の協力を得て、子どもによるリトミック動画を1本作成し、昨年度作成した3本の動画とともに区内福祉施設に配布した。

(3)ボランティアに関する相談、紹介

- ・児童の通学支援ボランティア相談があった際には、地域の活動者の情報に精通した担当者に相談し、自治会長や民生委員から地域人材を紹介してもらい支援につなげた。
- ・個人宅の生活支援相談が微増しているため、新たな担い手の育成を目指し、草刈り講座を実施した。受講後は実際に個人宅の依頼を紹介し、活動につなげた。
- ・配慮の必要なボランティア希望のある方に対し、ふれあいショップ・地域子育て支援拠点と連携し、見守りを含めたボランティア活動を半年間に渡って提供したところ、一般就労に結びついた。

* ボランティア依頼状況

分類	依頼件数	対応件数	調整中	調整つかず	取り下げ	対応人数	調整数	
児童	単発	1	1	0	0	0	12	5
	継続	4	4	0	0	0	5	14

障がい	単発	2	2	0	0	0	0	4
	継続	15	7	6	0	2	18	86
高齢者	単発	6	6	0	0	0	29	20
	継続	4	4	0	0	0	3	20
外国人	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0
その他	単発	1	1	0	0	0	0	0
	継続	5	2	1	0	2	1	15
合計	単発	10	10	0	0	0	41	29
	継続	28	17	7	0	4	27	135
	合計	38	27	7	0	4	68	164

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- ・ 6月に子育て講座を実施した。
- ・ コロナ禍における新たなボランティア支援として、福祉施設へのレクリエーションボランティアの一環となる、動画・季節飾りボランティアを継続実施した。
動画を新たに1本制作し、昨年度制作した3本と合わせて8施設へ送付した。季節飾りについては33名のボランティアの協力を得て、夏季7施設、冬季8施設、合計15施設へ飾りを送付した。
- ・ 施設向け連携・情報交換会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。
- ・ 3月開催のボランティア・市民活動分科会を通して団体間での情報共有を行った。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

- ・ 拠点利用団体や障害当事者、地域の方々（地区社協や民生委員児童委員等）に協力して頂いて、小中学校・高校での福祉教育を実施した。
- ・ 星川地域ケアプラザとボランティア講座の開催情報を共有し、連携をとりながらボランティア業務を行った。また、毎年全館で開催している「ほっしいーのわいわいフェスティバル」では、規模を縮小し近隣施設や「かるがも」館内施設の情報掲示に協力した。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

- ・ コロナ禍により区民まつりは中止、社会福祉大会は規模を縮小しての開催となり、拠点利用団体に運営への協力や参加を通して地域福祉活動の理解につなげる機会

はコロナ禍以前に比べると減少したが、拠点利用団体が施設飾りボランティアに参加し、区内福祉施設の現状を知ることや理解につなげることができた。

- ・各地域での会議やボランティア・市民活動分科会等で、コロナ禍におけるボランティア活動の現状を把握し、活動機会が減少したボランティア団体へ施設飾り・動画撮影を提案し、活動の継続につなげた。

4 その他

(1)職員体制、育成

- ・職員の資質と接遇の向上のために、職員全体会議を実施した。全職員を対象にコンプライアンス、危機対応、個人情報保護、接遇・人権研修を実施した他、接遇と人権研修は市社協で実施する研修に職員を派遣した上で伝達研修を通して全職員で共有した。
- ・かるがも全体で実施する避難訓練に参加した。放送設備や緊急時の操作盤の使用方法の確認等も行った。
- ・市社協作成の職員育成計画に基づく人事考課制度により定期面談等を実施し職員個人の能力に応じたスキルアップを図った。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

年末年始（12月29日～1月3日）を除く 9:00～21:00
（日曜・祝日は 9:00～17:00）

※新型コロナウイルス感染症対応のため、区役所通知に基づき開館時間及び利用定員を調整した。

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

建物全体で各業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・害虫駆除 ・昇降機保守点検 ・法定建築設備点検
- ・冷暖房、空調設備保守点検
- ・日常巡視点検 ・自家用電気工作物保守点検

<清掃業務について>

建物全体で各業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・日常清掃 ・定期清掃 ・緑地整備 ・貯水槽清掃

<警備業務について>

建物全体で業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・機械警備

<植栽・樹木等について>

建物全体で業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・緑地整備に含み実施

イ 苦情受付体制について

<苦情への対応手順>

苦情解決規則に則った対応を行った。

苦情受付担当者および苦情解決責任者を設置し、苦情があった場合、職場内で共有した後、市社協に報告を行っている。

＜苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法＞

苦情受付についての案内および苦情受付担当者、苦情解決責任者を示し、掲示を拠点内に行うとともに、苦情対応状況については「保土ヶ谷区社会福祉協議会事業報告」およびホームページにて周知した。

また区社会福祉協議会としてご意見箱を設置し、拠点運営事業を含めた区社協事業への意見の収集を行った。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

＜連絡体制＞

危機管理マニュアルおよび緊急連絡網による職員間・関係機関への連絡を行った。メールによる安否確認訓練、市ボランティアセンターとの無線による連絡訓練等

＜職員の役割分担＞

危機管理マニュアルにおいて各職員の災害発生時の役割分担（初期消火・誘導・救護）を定めるとともに、同マニュアルに則り行動した。

＜地域や関係機関との連携体制＞

危機管理マニュアルの活用を図り、関係機関への連絡・通報を迅速に行えるよう徹底した。建物内の他施設とともに年2回の防災訓練を行った。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

全職員を対象として、個人情報に関する研修を行い、意識啓発を行った。個人情報を扱う発送や事務作業については二人以上で取扱い、特に個人情報に関するファイルは鍵のかかるロッカーで保管することを徹底した。

オ 環境への配慮及び取組について

＜ゴミの発生抑制に関する取り組み＞

種類ごとの分別を徹底し、ごみの抑制に取り組んだ。施設利用者へゴミの持ち帰りを促す掲示を行った。

＜再利用・再使用に関する取り組み＞

裏紙の再利用および再利用可能な食器等の使用を進め、拠点内・事務所内にて発生するゴミの抑制を図った。

＜リサイクルに関する取り組み＞

ルート回収を活用するとともに、ゴミの分別を徹底した。

令和3年度 横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 収支報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,771,000	394,619	17,165,619	17,498,799	333,180	横浜市より(シャッター他修繕費)
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	0	0	0	0	0	
雑入	300,000	0	300,000	197,821	102,179	
印刷代	300,000	0	300,000	197,821	102,179	拠点印刷機・複写機利用料
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	17,071,000	394,619	17,465,619	17,696,620	231,001	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,031,000	0	10,031,000	10,053,249	△ 22,249	
給与・賃金	8,881,000	0	8,881,000	8,597,089	283,911	常勤・非常勤人件費
社会保険料	634,000	0	634,000	697,072	△ 63,072	常勤・非常勤社会保険料
通勤手当	200,000	0	200,000	513,188	△ 313,188	常勤・非常勤通勤手当
健康診断費	10,000	0	10,000	6,600	3,400	常勤健康診断費
勤労者福祉共済掛金	6,000	0	6,000	6,000	0	常勤福祉共済金
退職給付引当金繰入額	300,000	0	300,000	233,300	66,700	常勤退職給付積立金
事務費	1,636,000	0	1,636,000	776,083	859,917	
旅費	0	0	0	0	0	
消耗品費	821,000	0	821,000	352,911	468,089	拠点消耗品費
会議賄い費	140,000	0	140,000	0	140,000	
印刷製本費	100,000	0	100,000	62,700	37,300	使用許可書印刷
通信費	205,000	0	205,000	76,122	128,878	インターネット料金(34320)、後納郵便費(41802)
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	238,106	△ 238,106	録音室PC(82500)、団体交流室キャビネット(124146)、ピンマイク(31460)
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000	0	10,000	9,540	460	施設賠償責任保険
職員等研修費	12,000	0	12,000	272	11,728	職員研修交通費
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	48,000	0	48,000	36,432	11,568	印刷機・複写機リース料
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	300,000	0	300,000	0	300,000	
事業費	650,000	0	650,000	386,243	263,757	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	650,000	0	650,000	386,243	263,757	ボランティア講座経費等
管理費	4,754,000	394,619	5,148,619	5,680,045	△ 531,426	
光熱水費	2,100,000	0	2,100,000	2,037,695	62,305	電気(1280673)、ガス(486266)、水道(270756)
清掃費	885,000	0	885,000	953,801	△ 68,801	建物管理業務委託費
修繕費	300,000	394,619	694,619	694,619	0	シャッター他修繕費
機械警備費	219,000	0	219,000	218,972	28	機械警備保守
設備保全費	950,000	0	950,000	628,027	321,973	
空調衛生設備保守	340,000	0	340,000	348,733	△ 8,733	冷温水保守(338,849)、貯水槽清掃(9,884)
消防設備保守	0	0	0	71,280	△ 71,280	防火対象物点検(39600)、屋内消火栓現地調査(31680)
電気設備保守	54,000	0	54,000	53,668	332	自家用電気工作物保守
害虫駆除清掃保守	33,000	0	33,000	32,694	306	衛生害虫駆除(16,347*2回)
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	523,000	0	523,000	121,652	401,348	昇降機保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	300,000	0	300,000	1,146,931	△ 846,931	シャッター(17600)、印刷機保守料(81400)、複写機保守料(27897)、緑地整備費(20644)、電話回線工事(41800)、拠点管理非常勤職員広告費(63250)、ごみゼロルート回収負担金(323278)、システム共通経費負担金(564648)、法人運営繰入金(6414)
公租公課	0	0	0	801,000	△ 801,000	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	800,000	△ 800,000	消費税納税
印紙税	0	0	0	1,000	△ 1,000	契約書印紙代
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	17,071,000	394,619	17,465,619	17,696,620	△ 231,001	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	650,000	0	650,000	386,243	263,757	
自主事業 収支	△ 650,000	0	△ 650,000	△ 386,243	△ 263,757	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。